

「日本バプテスト連盟第71回定期総会 議案説明③」 吉田真司

前回(1/4)巻頭言に続けて標題の三回目です。今号では主要議案の内、以下二つの議案について要約してお知らせします。

■ これからの国際宣教の理念の件

理念(案)主題は「今、共にキリストを証しする『国際宣教』～『国外伝道』は今、諸教会が主体として取り組む『国際宣教』へ」です。その前書きに『国外伝道』は、これまで働き人を派遣することが中心であったが、これからは国内外を問わず、諸教会が取り組んでいる『国際宣教』を諸教会に繋ぐ働きに移行していく」とあります。具体的には、既に起きている国内の国際的な変化(様々な理由で国外から来た人々を支援している教会、他言語礼拝を行っている教会等)を捉え、諸教会が取り組む国際宣教を支援していく方針です。

組織的には、諸教会の「国際宣教」との繋がりをコーディネートする「国際宣教委員会」(国内・国外を超えた国際的な働きを繋ぐための窓口)を設置し、祈りの発信・情報の共有・支援や青少年育成(ミッションスタディーツアーや国際ミッションボランティア)支援、国際交流(国際課題学習)を行う考えです。※当理念が、日本バプテスト女性連合の合意が得られた場合、対等な協力関係のもと協働に取り組むこととされています。

■ 新しい協働(支援)の理念の件

当案起草の背景には、これまでの支援規定は教会成長・経済的自立を促す立付けであり、諸教会の置かれている現状との間に乖離が見られるとの評価があります。それを受けて、教会の成長という希望を大切にしつつ、教会が立ち続けていくための支援の形が以下のように提示されました。

- ① 「宣教」支援と「総務」支援を合わせた「総合的」支援へ。
- ② 連盟からの一方向の「支援」から、双方向の「協働」へ。「支援する側」「支援される側」ではなく、共に「協働し合う」関係へ。
- ③ 地域で支え合い、孤立化を防ぐ関係づくり。持続可能な歩みへのサポート関係を。
- ④ 「教会・伝道所」「連盟」「地域(地方連合)」による三者の相互協働へ。

※スケジュールは、2026年度に「新たな教会・伝道所活動支援制度」政策立案作業を進め、次期(2027年度～2030年度)中期計画(財政計画)に組み入れ、第72回定期総会(2027年2月)に提案予定です。

(1/18号につづく)

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30～12:00
家庭集会(相模原)	第二火曜日	午前10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>